



キュウリ

トマト

なすび

子どもたちが春に植えた野菜や花が大きく育ってきました。キュウリやトマトやなすびの実がなっています。大きく育った夏野菜を、家に持って帰るのを楽しみにしている子や、家に持って帰るまで待ちきれなくて、「帰りに、食べちゃおうかな。」なんて言っている子もいました。毎日、水やりを忘れず、丹精込めて育てた野菜を収穫する喜びを、きっと感じていることでしょう。どうぞおいしく家でお召しあがり下さい。

土曜参観 ありがとうございました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

3年ぶりに開催できた土曜参観では、たくさんの方に参観していただき、ありがとうございました。子どもたちの頑張っている様子を見ていただき、また授業での子どもの活動を見ていただけ学校としてもとてもうれしかったです。

1年生の授業は国語と体育でした。ひらがなの言葉集めでは、いつもはすごい勢いで、知っている言葉をたくさん出してくれる1年生ですが、お家の方々が見に来てくださっている嬉しさと緊張感があつたのか、いつもより発表控えめだったようです。

2年生は国語と体育でした。国語では、いろんな場面で「かけられて嬉しい言葉」についてロイロノートを使ってまとめました。体育では元気に活動している子どもたちの姿を見ていただけたと思います。

3年生は、「ふわふわ言葉とチクチク言葉について」と理科をしました。2時間もロイロノートを使っての授業でした。理科では、昆虫の体のつくりについて勉強しました。大きな昆虫の模型が登場してしました。

4年生は、「ごみがどうなっていくか」の話をされていました。このお話を聞いた後から社会で勉強する「ごみ」については、自分たちのごみについて、深く考えることができると思いました。2時間目は、自分が送りたいお手紙を朗読していました。

5年生では、先日描いた「蛍」の絵をみんなで鑑賞し合っていました。お家の方々にも入っていただいていた鑑賞会はとても和やかな時間でした。

6年生は、国語で、「話し言葉と書き言葉の違い」についての学習でした。どちらも大切なコミュニケーション。誰もが気持ちよく感じられるような言葉の使い手になってほしいです。

5・6年生 戦争体験のお話を聞いて

5・6年生は、元千代田小学校の校長先生をしておられた宮本千代子さんに、「戦争体験」のお話をさせていただきました。実際に戦争を体験なさったお話は、真に迫るものがあり、子どもたちは、「えっ、そんなことが。」「私だったら、どうしているだろう。」等いろんな感想を持ちながら話を聞かせてもらったようです。今、まさにウクライナとロシアの間で起こっている戦争の話を毎日ニュースで見ている子どもたち。しかし、日本でも同じような戦争があったことを、知識としては知っていても、実際に体験した人がどんどん少なくなって、じかにお話を聞く機会も減り、想像もつかないようになってきています。終戦から77年。戦争が実際の話だったと、もはや感じ取ることこそ、難しいでしょう。「ちいちゃんのかげおくり」や「一つの花」等の戦争を題材とした文学作品を読むにも、まず、この時代の暮らしや戦争の話を先にしっかりとお話しておかないと、その情景すら想像できなくなりつつあるのです。

お話は、「戦争へ突き進んだ状況」「戦争に行きたくない拒んだ人への仕打ち」「空襲にあつて、お母さんと離れ離れになったときの恐さ」「原爆」などについてお話いただきました。どの話も、子どもたちには衝撃的だったと思います。でも実話なのです。子どもたちは、真剣に話を聞いていました。たくさん感想を持つこともできました。その感想を紹介したいと思います。(すべて「私」に変えて表記しています。)

5年生・・・

- ・私は、縛られて、(銃で) 打たれるという話を聞いたとき、すごく怖かったです。(戦争に行くことに) 反抗した人を見せ者にする。そしてみんなをもっと怖がらせる。よくそんなことができるなと思いました。
- ・「(戦火で) お母さんを見失って死のうと思った。」という話を聞いて、2年生で死のうって思うのがかわいそうだし、ご飯がなくて大変だったんだなあと思いました。私だったら、お母さんと2日間も離れ離れだと泣いたりわがまを言ったりにしていたと思います。

6年生・・・

- ・今の日本はとても平和で幸せであること、戦争中の日本と比べると、今は、食べる物、着る物に恵まれていること、私はこの戦争のない時代に生まれたことがとても幸せです。
- ・大阪の被害がこんなにたくさんって知らなかった。戦争に行きたくない人もいると思うのに、赤い紙が来たらいかないとあかんし、行かなかったら殺されるなんて残酷だ。
- ・食料も少ないし、衣類も少ない中で、過ごすのはとてもきついです。ランドセルを持って学校に行ったら、空襲警報が発令され、家に帰って防空壕に入って空襲警報が解除されると、ランドセルを持って学校に行くのを繰り返すのは私は無理だと思います。
- ・まずは、身の回りのケンカからなくしていきたいです。今、ロシアとウクライナが戦争していますが、どうか放射能は入れないでほしいです。
- ・世界が平和になって楽しく暮らしたいと思いました。一日一日を感謝して生活しないと戦死して死んでしまった人たちがかわいそうです。
- ・土地を広げたいだけに戦争をしたくないです。別に土地を広げなくても生活はできるし、土地がなくても損はないと思うからです。
- ・一番いやなのは、戦争に負けることではなく、仲間や友を失うことだと思う。生き残った人は死んだ人よりつらいと思う。